

平成 30 年 8 月 15 日

### クラウンアスリート GRS-214 カスタマイズレポート

今回の交換は純正サスペンションへの不満から思い立ったのである。

クラウンアスリート 3.5 リッター GRS-214 に乗り始めたのは、29 年 9 月からである。前車はスカイライン 2.5 リッター V36 で、CPU 交換、車高調(Zeel)、ブレーキ関係強化などライトチューンして有った。

車高調に関しては、30 段階の可変式で減衰力は 24 に設定。上から 6 番目に固い設定にして乗っていた。

この設定だと、高速道路の連続する高速コーナーでも、ロールは殆どなく安心してコーナーを攻めていけた。若干オーバーステア気味では有るが、アンダーよりはマシである。

しかし、その代償として一般道での乗り心地は悪い、具体的には上下のピッチング、段差を越えるときのゴツゴツ感、ショックの底つきなど、車高調特有の弊害は当然ある。

ただ、よく言われる冬場の異音(コトコト音)は全くなかった。

#### 【サスペンション交換 Tom's Advov Sports】

当初は本当にサスペンションを入れ替えたのか？疑うほどにゴツゴツした印象がまったく無い。むしろ逆にノーマルサスより、しなやかになり、しっとりした印象である。

本当に噂通りの良く働いてくれるサスペンションである。

市街地では段差やマンホールなど『タタンッ』としなやかに乗り越えていき衝撃を上手く吸収してくれている。ノーマルサスの変なゴツゴツ感は無い。高速道での繋ぎ目ではその効果ももっと顕著に出てくれて、しっかりと地面を捉えながらその衝撃を吸収してくれている。

そして一番驚いたのがカーブの進入時におけるロールの少なさ。ノーマルサスでは高速コーナーの初期ロール時、このまま車が持って行かれる位の恐怖感があったが、Advov Sports に交換してからは、今までの印象で曲がるとき感覚的に持っていられるであろうロールに対して、身体を支える動作が予想よりも軽く『あれ?』という思いになる。いつもならもっと身体がふられるのに・・・と、良い意味で違和感を覚える。

多少オーバースピードで進入しても車体は安定して、そのまま繋ぎ目を乗り越えてもその安定性は変わらない。レーンチェンジもスムーズに曲がってくれるので安心感も増してくる。そしてなにより振動や身体の動きが減るので疲れないので非常に大きい。その安定性と快適性は今までこのクルマで感じた事のない上質さを感じる走りに生まれ変わった。

タイヤの接地性が大幅に向上し、狙ったラインをトレースできる、リニアなハンドリングに変わった。

### 【メンバーブレース類追加装着】

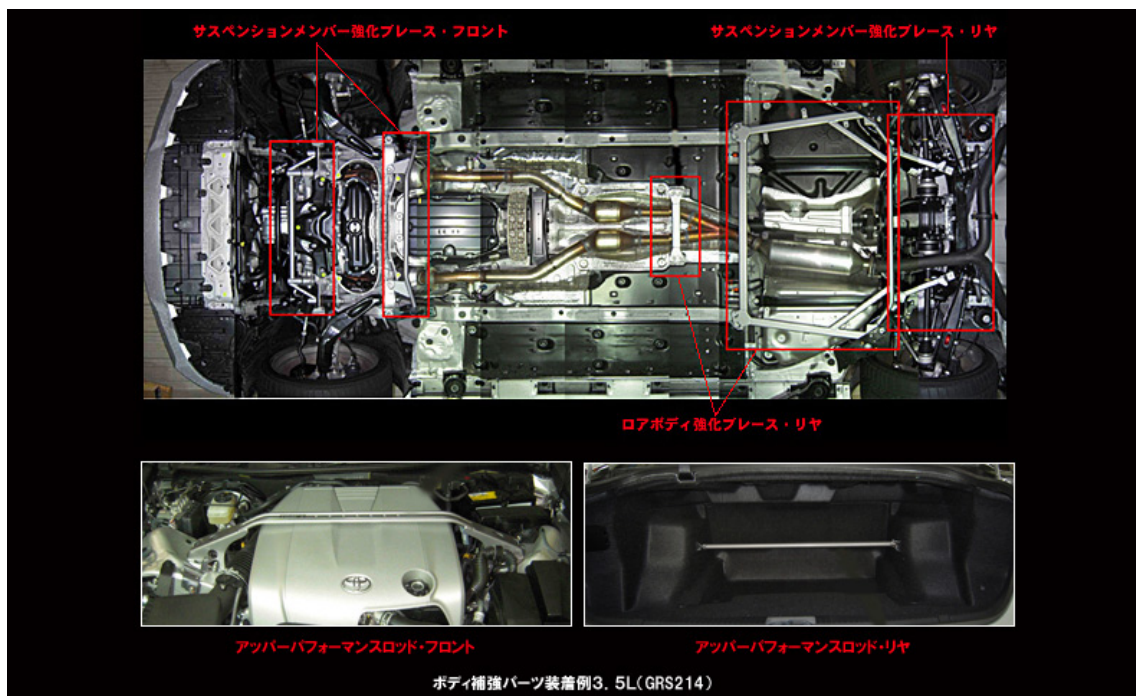
サス交換してから、1ヶ月乗って見て本当に快適である。

乗り心地はノーマルサスより良い事を改めて実感する毎日である。

本当に交換してよかった。

しかし、少々不満もある。仕事の関係で三陸道を利用することが多いのであるが、三陸道はカーブがとて多く、しかもアールがとてキツイ高速コーナーが多い。

その際にやはりロールが怖い。ノーマルサスに比べれば格段に初期ロールは抑制されているが、それでもまだボディがよれるような印象で、コーナーの途中で安定しない状態である。これがいわゆるトヨタが狙った、「いなしボディ」の恩恵でもあり、そして弊害では有るのだろう。その改善を試みるためにメンバーブレース類の追加に踏み切った。



今回の装着品は、サスペンション強化ブレースフロント・リア。ロアボディ強化ブレース。

実際に装着して三陸道を走行したが、劇的な変化は感じられなかった。

若干フレームのヨレが軽くなったかなあーという印象である。

期待していただけに少し残念な感じである。

### 【アッパーパフォーマンスロッドの追加装着】

メンバーブレース類の効果があまり感じられなかったので、フロントとリアにアッパーパフォーマンスロッドを追加した。

装着後のディーラーからの帰り道に、おや！いつもより乗り心地が固く引き締まったような感覚を実感した。今までのしっとりした乗り心が幾分犠牲になり、荒れたゴツゴツした道

路ではダイレクトに伝わってくる感じである。

おそらくトヨタ狙いの「いなし効果」を封じ込められた証拠である。

しかし、乗り心地にそんなに大きな不快感は無い。

綺麗に舗装された道路では、本当に滑るように静かに走るのである。

おっ！これはもしかすると期待できるぞ。とワクワクした気持ちになった。

いつもの三陸道に乗って早速検証したところ、本当に！ビックリです。

パフォーマンスロッドを入れただけで、今まで怖い思いをしていた高速コーナーでの恐怖感が全くなくなりました。うーん最高と心の中でガッツポーズしました。

そして、直進安定性が格段に良くなりました。

私が目標にしていた BMW の乗り心地に近づいたように感じます。

これはきっと大幅にボディ剛性が上がったことの証明である。

#### 【総評】

本当に私のクラウンは欧州車並みのボディ剛性を手に入れることが出来ました。

これからの長距離移動もスゴク楽になると思います。

カスタマイズの順番として私は「サス交換」⇒「ブレース」⇒「パフォーマンスロッド」とやってきました。

もしかすると順番器逆だったような気がします。

パフォーマンスロッドの効果が強烈で、これだけでどこまで走りが変化するのか、一度試してみたい衝動に駆られています。

トムスとしては、セットでの装着で体感できるレベルの変化が起こると言っています。

最高のクラウンアスリートの走りを一度味わって頂きたいです。

クラウン 210 系にお乗りのユーザー様、是非ともカスタマイズに挑戦してみた下さい。

以上